円借款案件【事後モニタリング】 結果表

国名	インド
案件名	バンガロール上下水道整備事業 (II-1) (II-2)

I. 案件概要

(1) L/A 承諾額	(II-1) 419.97 億円、(II-2) 283.58 億円
(2) L/A 調印日	(II-1) 2005 年 3 月 31 日、(II-2) 2006 年 3 月 31 日
(3) 実施機関	バンガロール上下水道局 (Bangalore Water Supply and Sewerage Board: BWSSB)
(4) 事業概要	インド南部カルナタカ州の州都であるバンガロール都市圏を対象に、コーヴェリ川を水源とする上水道施設及び下水道施設の整備を行うことにより、急増する水需要に対する安定的な上下水道サービスを提供し、もって同地域の衛生的な居住環境の整備及び産業の活性化に寄与するもの。

II. レビュー/モニタリング結果

(1) 事後評価における課題・指摘の概要	<p>事後評価では、運営・維持管理の制度・体制に関し、運営・維持管理に従事する職員のポストに長年にわたり欠員があり、一部のエンジニアが担当地区を掛け持ちする状況が生じ、業務負荷が集中していることが指摘された。</p> <p>また、財務面について、BWSSB の水道料金体系は、単位当たりの平均水道料金が生産費用を賄う水準に設定されていなかったことを踏まえ、カルナタカ州政府が毎年水道料金の見直しを可能とする通達を発出するよう同州政府への働きかけを継続すること、あわせて市民に適切な料金設定を理解してもらうため、市民との対話や啓発活動を進めていくことが提言された。</p>
(2) 対応結果/今後の対応方針/事業目標の達成見込み	<p>JICA インド事務所から実施機関への確認を通じ、以下の対応が取られていることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の欠員問題について、BWSSB のエンジニア及びメーター検針員等の計 70 名のポストの採用に関し、2024 年 8 月にカルナタカ州政府の承認を取得済み。今後、採用手続きが進む見通し。 水道料金については、2025 年 4 月 1 日に改定済み。改定後の料金体系は、特に家庭用水使用量の少ない利用者の負担にならないよう配慮しつつも、BWSSB の財務改善に必要な要件を満たす水準が設定された。同時に、毎年、水道料金の引上げが実施される旨も決定済み。 適切な水道料金設定への理解を得るため、BWSSB は市民との対話や啓発活動を実施し、水道料金に係る理解促進を図った。

(3) 教訓

- 事業完成後の持続的な運営・維持管理体制の構築に向け、上下水道施設の整備に並行して、エンジニアの採用など体制面の強化を図っていくことが重要である。採用に当たっては、州政府など上位組織の承認が必要となるため、事業実施機関には関係機関との調整、承認取得を含め、手続きを計画的に進めるよう案件形成時から申し入れていく必要がある。
- 上下水道サービスの安定的な提供に向け、財務面の健全性を確保した事業運営が必要である。そのためには、水の生産コストや維持管理費用を賄うことが可能な水道料金の設定や料金回収率の改善が求められる。水道料金の改定は、市民生活にも影響を与えるなど政治的にも簡単なことではないが、実施機関と州政府などの上位組織との間で綿密に意思疎通を図り、また、市民が日々消費する水の生産コストを認識し、適切な料金設定の重要性を理解してもらうよう、市民との対話や啓発活動を進めていくことが重要である。